

文京シビックホール20周年記念公演

文京シビック合唱団

第17回定期演奏会

ヴェルディ・オペラ名曲選

あなたと響きあい。



「ナブッコ」「マクベス」
「イル・トロヴァトーレ」より

「椿姫」セレクション
(第1幕、第2幕)

指揮:松尾 葉子
(総音楽監督)

独 唱:徳山 奈奈(*Sop.*)
藤田 槇葉(*m. Sop.*)
渡辺 大(*Ten.*)
駒田 敏章(*Bar.*)

合 唱:文京シビック合唱団
管 弦 楽:アンサンブル・フォルテ

2019
10.19
〔土〕

14:00 開演 (13:30 開場)
文京シビックホール 大ホール
文京区春日1-16-21 文京シビックセンター1F
・東京メトロ 丸ノ内線・南北線「後楽園」駅直結
・都営地下鉄 三田線・大江戸線「春日」駅直結
・B-ぐる(文京区コミュニティバス)停留所1番
「文京シビックセンター(春日駅前)」

●全席自由 2,000円
●チケット販売 7/19(金) 10:00より
シビックチケット 03-5803-1111
(10:00~19:00 土・日・祝休日でも受付)
文京区春日1-16-21 文京シビックセンター2F

主 催 文京シビック合唱団

URLアドレス <http://greenwave.la.coocan.jp/bchorus/>

共 催 文京区／文京シビックホール(公益財団法人文京アカデミー)

(未就学児入場ご遠慮下さい。出演者に対する花束・その他の贈答品はご遠慮ください。
お持ちいただいてもお預かり致しません。)

お問い合わせ 長谷川 03-3812-0633
青 柳 03-3813-2168

文京シビック合唱団



指揮 松尾 葉子



名古屋生まれ。お茶の水女子大学教育学部音楽科を卒業後、東京藝術大学指揮科を経て同大学院修了、1981年渡仏、パリのエコール・ノルマルでピエール・デルボー氏に師事。

1982年フランスのブザンソン国際指揮者コンクールで、日本人としては小澤征爾に次いで二人目の優勝。

日本のほとんど全てのメジャー・オーケストラで交響曲、オペラ、オペレッタを指揮、実力と人気を兼ね備えた指揮者として活躍。1999年セントラル愛知交響楽団の常任指揮者に就任、演奏会のみならず地域活動なども活発に行い、同楽団と中部地域の文化の活性化にも大きく貢献。2004年から同楽団の首席客演指揮者、現在は特別客演指揮者。

1982年より30年間、東京藝術大学指揮科で後進の指導に当たった。2008年から文京シビック合唱団総音楽監督。2015年4月より、愛知県立芸術大学客員教授。2005年より、すみだトリフォニージュニア・オーケストラ音楽監督。平成28年度愛知県芸術文化選奨の文化賞受賞。

公式ホームページ <https://yoko-matsuo.com>

ソプラノ 徳山 奈奈



鳥取県出身。国立音楽大学声楽科首席卒業。歌曲ソリストコース修了。卒業時に武岡賞を受賞。東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程声楽専攻（オペラ）修了。二期会オペラ研修所第61期マスタークラス修了。優秀賞、奨励賞受賞。二期会会員。「桃華楽堂御前演奏会」、文化庁文化推進特別事業オペラ新国立劇場オペラパレス公演「コシ・ファン・トゥッテ」フィオルディリージ役出演他、《フィガロの結婚》伯爵婦人役、《カルメン》ミカエラ役、ブリテン作曲《戦争レクイエム》ベートーヴェン作曲《第九》などでソリストを務め好評を博している。2018年東京二期会オペラ劇場 G. プッチーニ作曲《三部作》～《修道女アンジェリカ》題名役のアンダースタディを務め、2019年4月《二期会コンチェルト・シリーズ》マスネ作曲《エロディアド》バビロニアの娘にて出演。BS-TBS日本名曲アルバム ensemble OASISメンバーとしても活動。

テノール 渡辺 大



東京都東久留米市出身。明治大学を経て東京藝術大学声楽科卒業。同大学院修士課程（オペラ）修了。小澤征爾音楽塾に参加。新国立劇場オペラ研修所修了公演『ファルスタッフ』、『イル・カンピエッロ』、佐渡裕指揮『椿姫』、『フィガロの結婚』、佐藤しのぶ主演『夕鶴』とひょう役、三枝成彰『KAMIKAZEー神風ー』山口耕太少尉等で出演。ソリストとしては、日本フィルハーモニー交響楽団とヴェルディ「レクイエム」で共演した他、東京フィルハーモニー交響楽団とベートーヴェン「合唱幻想曲」に出演。ファエンツァ、ローマではV.チマッティ作品のイタリア公演に出演した。日本声楽家協会教育センター講師。日本声楽アカデミー会員。

管弦楽 アンサンブル・フォルテ

指揮者・松尾葉子プロデュースによるオーケストラ。
“新しい時代のベートーヴェン”を考察し実行しようと2005年に立ち上げ、東京と名古屋を中心に活動を開始、その活動に注目が集まった。
近年ではベートーヴェンだけでなくニューイヤーコンサート、音楽物語「ペール・ギュント」等の企画や、オペラ「アイダ」などオペラ公演でも好評を得ている。
団体名であるフォルテ (Forte) は音楽用語の“強い”という意味であるが、他に「上手い」「優れた」という意味も持っており、文字通り優れた演奏技術とアンサンブル力でメンバー一人一人の個性が湧き出てくるような素晴らしい演奏を日々目指している。ベートーヴェン「英雄」「運命」のCDをリリース中。

1991年に文京区教育委員会が始めた文京区混声合唱講習会がその前身である。

2002年7月、文京区および（公財）文京アカデミーの支援の下、地域文化向上の一助となることを目標に自主運営組織として発足。本年2019年は創立17周年を迎える。

発足当初から故佐藤功太郎氏が総音楽監督に就任。同氏没後、2008年から松尾葉子氏が就任。

これまで、ヘンデル、モーツァルト、ヴェルディ、フォーレ、プッチーニ、オルフ、ラターなど、バロックから現代音楽まで幅広く採り上げている。定期演奏会はオーケストラと共演し、毎年、文京シビックホール大ホールで行っている。

団員は140名を超え、毎週火曜日文京シビックセンターなどで練習を行っている。

メゾ・ソプラノ 藤田 槇葉



東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。卒業時に同声会賞受賞。2012年練馬区新人演奏会オーディション優秀賞受賞ならびに受賞コンサート出演。日伊コンクール入選。栃木コンセルマロニエ21入選。二期会ロシア東邦オペラ研究会の定期演奏会にてリムスキー＝コルサコフ作曲の歌劇『雪娘』レリ役でオペラデビュー。2016年に初のディナーショーを開催。2018年12月、福島県南会津郡でフンパーディンク作曲の歌劇『ヘンゼルとグレーテル』母役。2019年4月、東京室内楽劇場スペシャルオペラウィークにて、マスネ作曲の『サンドリヨン（シンデレラ）』姉ドロテ役。ソリストとしては、ベートーヴェン『第九』、ヘンデル『メサイア』に各地で出演。日本人としては珍しいアルトという声種で、深みのある声として定評を得る。これまでに声楽を伊原直子、自身の祖父である藤田昌克各氏に師事。

バリトン 駒田 敏章



東京藝術大学卒業。同大学大学院修了。藝大在学中にヘンデル『メサイア』、バッハ『マタイ受難曲』等のコンサートソリストとして出演。東京藝術大学創立120周年企画グリーク『ペールギュント』全曲演奏会ではペール役を演じた。大学院修了後、新国立劇場オペラ研修所でオペラを学ぶ。文化庁海外派遣制度でドイツ・ベルリンに留学。2012年オランダ・グローニンゲンで開催された音楽祭にラヴェル『スペインの時』ラミーロ役で出演しLabberte-Hoedemaker Awardを受賞した。第83回日本音楽コンクール第1位。

団員募集

第18回定期演奏会

2020年10月10日（土）

プッチーニ「グローリア ミサ」（4声のためのミサ曲）

ヴェルディ「アイダ」より凱行進曲

指揮 松尾 葉子

●連絡先 長谷川 03-3812-0633

青 柳 03-3813-2168